

9月は「世界アルツハイマー月間」
認知症にやさしい異業種連携協議会 第4回特別編

他人事 私 の 親 が だった の が

認知症になりました

医療 介護 企業
市民

それぞれの目線で **本音が飛び交う場所**

「誰ひとり取り残さない」社会に向けて

日時

令和3年9月12日(日) 11:00~13:00
1部・2部制 プログラムは裏面参照

対象

テーマに関心のある方はどなたでも
現地参加20名限定、オンライン参加250名 (先着順)

場所

ランチ松井山手1階 (駐車場有り)
「笹屋伊織 イオリカフェ 松井山手店」
京都府京田辺市山手中央3-2
JR 松井山手駅 西側 徒歩すぐ

参加費

現地参加 1,000円 (当日支払・スイーツ付き)
オンライン参加 無料

パネリスト

ファシリテーター
十塚 悠氏

京都府立医科大学附属病院
精神科・心療内科
診療部長 成木 迅氏



社会生活の中での役割が、
とても大切だと実感しています。

まあいいかlaboきょうと
代表 平井 万紀子氏



認知症って、病院に通ったら、
治るのかなあ…?

笹屋伊織
女将 田丸 みゆき氏



認知症のある方やご家族に、
企業として何が出来るのか考えたい。

問合せ

まあいいかlaboきょうと
kyotostaff.maiika@gmail.com
TEL 090-3354-3445
FAX 075-602-2511

申込

右下のQRコードを読み取り、
お名前・メールアドレス・電話番号・現地/オンラインの選択・
人数・市区町村・ご所属(任意)を記入の上、お申込ください
(左記メール・FAXでも申込可能)

主催

まあいいかlaboきょうと
京都府基幹型認知症疾患医療センター (京都府立医科大学附属病院)
認知症にやさしい異業種連携協議会 (京都府)

申込QRコード



プログラム

第1部 11時00分～12時00分

第1部のみの
参加も可能です

- 趣旨説明 京都府
- 挨拶 まあいいかlaboきょうと
- トークセッション「他人事だった私の親が認知症に — 本音で話してみよう」
(休憩 12時00分～12時05分)

第2部 12時05分～13時00分

- 参加者との双方向セッション
- 挨拶 まあいいかlaboきょうと

お願い

◎「現地参加」の方は、イオリカフェ特製スイーツを、黙食でお楽しみいただきながらのご参加となります。スイーツタイムは、11時00分～12時00分です。

11時の開始に間に合いますよう、10時45分までに会場へお越しくださいませ。

◎「現地参加」では、換気をしっかりとし、人数制限の上、隣の方と適切な距離をとりながら、密を避けて開催いたします。新型コロナウイルス感染症対策へのご協力を、お願い申し上げます。

◎「オンライン参加」に必要なURLは、メールにてご案内いたします。当日10時30分までにご案内メールが届かない方は、(kyotostaff.maiika@gmail.com)までご連絡ください。

まあいいかlaboきょうと

「認知症になったとしても、活躍できる社会をつくる。社会参加を通して、貢献し合える社会を実現する。」

実母が認知症と診断され、同居をスタートしたことがきっかけで、このような思いを持ちました。

認知症になれば「施設に入所する人・何もできなくなる人・要介護者になる人」と決めつけるのではなく、たとえ認知症になったとしても、「できなくなったこともあるけれど、できることもたくさんある」「人格そのものまでもが認知症になるわけではない」と。

人はどんな状態にあろうとも、またどんな診断がくだされようと、「人の役に立ちたい」「人から必要とされたい」と強く思うのです。そしてその気持ちこそが、生きる力であり、生きる望みであり、また人間がもつ病気に立ち向かう最大の免疫力でもあるのです。

「やってあげなければ何もできない人ではなく、お互いが貢献し合える社会」の実現に向け、「いつまでも住み慣れた地域で、お互いがお互いを見守りあいながら暮らし続けることができる、日本人が元来大切にしてきたお互い様文化」の再構築を目指して活動しています。

「こうでなければならぬ。こうあるべきだ。」という生きづらさをつくっている大きな壁を、「まちがえちゃっても、まあいいか」という温かなところで受け止められる活動の一つになればいいなあと願っています。

「夢は寝る時に見るもの」ではなく、「実現可能なもの」であるという明るく温かな社会を次世代に送りたい気持ちでいっぱいです。



ホームページ

<https://maiika-kyoto.jimdofree.com>

代表 平井 万紀子

京都府基幹型認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターは、認知症疾患の保健医療推進の向上を図ることを目的とする専門医療機関です。

京都府の9つの医療機関が疾患医療センターとして指定されています。

なかでも、京都府立医科大学附属病院は、基幹型認知症疾患医療センターとして、府内全域の認知症医療・介護関係者とのネットワーク構築の要としての役割を担っています。

認知症にやさしい異業種連携協議会

異業種連携により認知症にやさしいサービスを検討し、実践することを目的として、令和元年6月に設立。

昨年9月には認知症になっても個人の意思が尊重され、安心して暮らし続けられる社会を実現するため、企業として取り組むべき行動についてまとめた「認知症にやさしい異業種連携共同宣言」を発表。

京都から認知症にやさしいモノやサービスの創出をめざしています。



ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/kourei-engou/181210.html>

